

事務事業名	一般管理事務事業			事業コード	02010100201		
所管部署	地域振興課（坂井支所）		電話	50-3060		記入者名	森田 康博
事業対象	市民、職員						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	効率的な行財政運営の推進			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画	無						
事業の概要	支所内の消耗品費、区長会費、サイン等の修繕費などを管理する。						
	事業費	72千円					
事業の目的・事業の概要等	○旅費（普通旅費）	0千円					
	○需用費（事務用消耗品費等）	72千円					

すぐにできる改善提案	毎月1回はサイン等設置場所を巡回し、破損していないか確認します。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	町内を移動時にサイン等があれば破損等していないか確認しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	合併前の旧町毎のサインデザインを市で統一し、管理についても一本化していきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	市統一のサインデザインについては、まだ協議していません。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	72千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	72千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.17人	7,950千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.17人	7,950千円	人	千円	人	千円	人	千円
総事業費	8,022千円		千円		千円		千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	8,022千円	千円	千円	千円					
財源合計	8,022千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	支所事務のため、このまま継続します。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	区長への行政事務説明会、及びサイン等行政施設の管理などのため、今後も市が直接実施します。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	施設の修繕費等の経費であるため、現状を維持します。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	必要最小限の人員のため、現状を維持します。				
すぐにできる改善提案	施設管理等の事務であり、今後も継続して実施していきます。				
目標年度 平成24 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市のサインデザイン統一について、検討していく必要があると思われます。				
目標年度 平成28 年度					

成果	サイン等施設修繕数	箇所	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
			目標値	3	達成率	3	達成率	3	達成率
活動	サイン等施設修繕費用	千円	目標値	300	達成率	300	達成率	300	達成率
			実績値	37	12.33	88	29.33	221	73.67
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率		達成率
			実績値						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	地域振興事務事業			事業コード	02010101101
所管部署	地域振興課（坂井支所）	電話	50-3060	記入者名	森田 康博
事業対象	市民、地域協議会、さかい夏祭り実行委員会				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	寄附市民参画基金事業のかがし製作業務
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	地域自治区の設置に関する協議書、坂井市寄附による市民参画条例、坂井市寄附による市民参画条例施行規則			
関連計画	無				

【事業の概要】

坂井自治区の区域に係ることや坂井総合支所が掌握する事務について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働のまちづくりを推進する。坂井自治区を行う事業について地域協議会で検討・決定し、その事業に対し市民等から寄附金を集め、寄附目標額に達してから事業化していくことで、市民が誇りを持って市政運営に参加することを目的とする。

◆事業費合計	7,002千円
地域振興事務事業	
◆事業費	6,279千円
○報償費（地域協議会視察謝礼）	3千円
○旅費（地域協議会委員費用弁償）	68千円
○需用費（地域協議会事務費・会議経費等）	112千円
○使用料及び賃借料（地域協議会視察バス借上料）	96千円
○負担金、補助及び交付金	6,000千円
・地域自治区イベント事業費補助金	
・さかい夏祭り事業補助金	
寄附市民参画基金事業	
◆事業費	723千円
○委託料	500千円
・さかいマイロード事業かがし製作委託料	
○工事請負費	223千円
・展示架台設置費	147千円
・交通安全看板設置費	76千円

事業の目的・事業の概要等

すぐに行ける改善提案	実行委員会方式に改めて4年目に入りますが、23年度は3年間たずさわった委員を各分会及び事務局委員として中心に添え、実行委員会の全体像を作り組織強化を図ることが必要です。そうすることによって、一部委員の負担が減り、いろんな企画が生まれます。各部門（分会）を担当責任者（かしの出展・協賛金の勧誘・イベントの企画・会場の設営等）に任せ、自分運でまったりをやるのだという思いを感じさせ、意識を高揚させる必要があります。只、当初はアドバイザーとして行政からの応援が必要です。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	昨年に引き続き、総務・イベント・かがし・会場設営の分会毎に企画運営を実施しました。また、平成23年度より踊り部会を立上げ、かがしだけでなく「踊り」も祭りのメインとして実施しました。市職員（地域振興課職員）がサポートしながらも、委員長をはじめとした各分会の委員や委員の中から選出した事務局が中心となり、準備から当日・後片付けまで全て実行委員会委員にて取り組みました。
中長期的に取り組むべき改善提案	実行委員会において祭りの主旨を浸透させ事業の計画を図りながら、商工会・各種団体・賛同者を実行委員会に取り込んで母体を強化していく必要があります。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	会場設営を市外イベント会社に委託するのではなく、商工会青年部が実行委員会に参画し、市内業者を中心に会場設営に取り組みました。今後は区長会やまちづくり協議会などを取り込んでいけるよう各団体と協議していきます。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費					
コスト	事業費	報酬	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			500	千円	千円	千円	千円	千円			
			112	千円	千円	千円	千円	千円			
			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			6,389	千円	千円	千円	千円	千円			
			7,001	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.64 人	11,144 千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	1.64 人	11,144 千円	人	千円	人	千円	人	千円	
	総事業費		18,145 千円		千円		千円		千円		千円
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			18,145 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		18,145 千円		千円		千円		千円		千円	

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	地域自治区を設置している間は、地域協議会も設置していきます。さかい夏祭りについても、かがしをメインに坂井自治区の行事として継続して支援していきます。寄附市民参画基金事業については、地域振興事務事業内での事業ではなく、個別の事務事業として継続して実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	さかい夏祭りについては、実行委員会主導で企画・運営していくよう支援していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	地域協議会の運営経費については必要最小限を計上しており、現状を維持します。さかい夏祭りについては、経済情勢も悪く自己資金額（広告協賛金額等）も300万円前後と伸びていないため、現状を維持します。なお、自己資金額を増加するよう支援していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	最小限の人員で効率よく行っており、現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	さかい夏祭りについては、かがしと踊りをメインに内容を充実させ、坂井自治区が活性化するよう実行委員会を支援していきます。また、実行委員会の各分会毎に事務局員を決め、分会毎の活動を充実するよう支援していきます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	さかい夏祭りについて、実行委員会のみで企画・運営していけるよう事務をパターン化するとともに組織強化できるよう支援していきます。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度				
成果	さかい夏祭り実行委員会委員数	人	目標値	50	達成率	50	達成率	40	達成率		
			実績値	55	110	45	90	37	92.5		
活動	さかい夏祭り広告協賛金額	千円	目標値	3000	達成率	3000	達成率	3000	達成率	2500	達成率
			実績値	2565	85.5	3085	102.83	2964	98.8	2504	100.16
活動	さかい夏祭りへのかがし出展数	体	目標値	50	達成率	50	達成率	50	達成率	40	達成率
			実績値	45	90	54	108	51	102	41	102.5
活動	地域協議会の会議等開催数	回	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
			実績値	9	75	8	66.67	11	91.67	10	83.33
活動	さかいマイロード事業でのかがし設置数	体	目標値	1	達成率		達成率	2	達成率		達成率
			実績値	1	100			2	100		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	協働のまちづくり事業		事業コード	02010101501		
所管部署	地域振興課（坂井支所）	電話	50-3060		記入者名	森田 康博
事業対象	市民、まちづくり協議会					
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画	無					

【事業の概要】

坂井町内各区との円滑な運営と連絡調整を図り、市民一人ひとりが誇りをもって暮らせるよう、公民館単位で設立された4地区のまちづくり協議会の活動を支援し、市民と行政の協働のまちづくりを推進する。

◆事業費 4,600千円  
 ○負担金、補助及び交付金 4,600千円  
 ・協働のまちづくり事業交付金（坂井町内4まちづくり協議会）  
 一般事業 2,600千円  
 600千円×3協議会=1,800千円  
 800千円×1協議会= 800千円  
 特別事業 2,000千円  
 500千円×4事業 =2,000千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	まちづくり協議会会長や事務局などである公民館職員と情報交換をしながら、活動を支援していきます。	
目標年度 平成24 年度		
取組状況	まちづくり協議会会長、公民館長、地域協議会委員にて情報交換を実施しました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	各まちづくり協議会の活動拠点である各公民館の運営を、まちづくり協議会に移譲することで、活動の効率性や利便性を高めていきます。	
目標年度 平成28 年度		
取組状況	本庁が実施する説明会に同席し、各まちづくり協議会の意見を把握しました。また、個別に各公民館長や会長などと情報交換を実施しました。	

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円				
			需用費	千円	千円	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円				
			その他	4,600千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	4,600千円	千円	千円	千円					
		人件費	正職員	1.08人	7,339千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.08人	7,339千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	11,939千円	千円	千円	千円						
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
		地方債	千円	千円	千円	千円					
その他		1,882千円	千円	千円	千円						
一般財源		10,057千円	千円	千円	千円						
財源合計	11,939千円	千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市民との協働のまちづくりを図るため、今後もまちづくり協議会を支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市民との協働のまちづくりを図るため、市が実施主体となりまちづくり協議会を支援していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	まちづくり協議会の活動経費として現状を維持していきます。なお、特別事業の要望があれば対応できます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市全体の職員数を削減している中、現状の人員にて対応していく必要があります。			
すぐにできる改善提案	今後もまちづくり協議会と情報交換を実施し、事務の効率化、活動の活性化につながるよう支援していきます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	公民館の運営をまちづくり協議会へ移譲し、まちづくり活動の効率性や利便性が高まるよう協議していきます。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】	指標名		単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
	成果	活動するまちづくり協議会数	団体	目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
				実績値	4	100	4	100	4	100	4	100
	活動	まちづくり協議会が実施する特別活動の事業数	事業	目標値	8	達成率	4	達成率	4	達成率	0	達成率
				実績値	4	50	4	100	0	0	0	0
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

事務事業名	公共交通機関対策事業			事業コード	02010600201
所管部署	地域振興課（坂井支所）	電話	50-3060	記入者名	森田 康博
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	公共交通網の整備・充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	丸岡駅の乗車券等発売・清掃・警備業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	無				

公共交通機関の利用促進や啓発活動、さらには利用環境を整備することにより、公共交通機関の利便性向上と利用促進を図る。

J R丸岡駅舎の管理経費、えちぜん鉄道下兵庫駅・大関駅の火災保険料などを支出しています。

◆事業費 4,178千円  
○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等） 553千円  
○役務費（電話料、火災保険料、手数料） 82千円  
○委託料 3,543千円  
・J R丸岡駅機械警備保障委託料 540千円  
・J R丸岡駅委託販売業務委託料 3,003千円

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費						
コスト	事業費		平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	3,543	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	553	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	82	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	4,178	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	0.25	人	1,699	千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.25	人	1,699	千円	人	千円	人	千円	千円
	総事業費		5,877	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			1,551	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			4,326	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		5,877	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
成果	J R丸岡駅簡易委託発売業務及び清掃業務の手数料	千円	目標値	1200	達成率	1200	達成率	1000	達成率	1000	達成率
			実績値	1551	129.25	1501	125.08	1290	129	1288	128.8
活動	J R丸岡駅舎交流ホール（ごうちゃんホール）利用者数	人	目標値	800	達成率	800	達成率		達成率		達成率
			実績値	681	85.12	797	99.62				
活動	えちてつサポーターズクラブ会員数	人	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	98	98	105	105	53	53	73	73
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	J R乗車券の販売について、券売機購入を窓口購入にしてもらうよう利用者に声かけし、販売額を増やすよう業務を委託しているシルバー人材センターに指導していきます。また、節電等により維持管理費の減少に努めます。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	J R丸岡駅舎の改修に伴い、駅員に制服を貸与したり、窓口販売額を増やすよう利用者への声かけ、看板設置の指導をしています。また、電球の間引きやLED電球にするとともに、日中の明るい時間帯などの消灯により経費削減に努めました。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市・あわら市内の高校再編により、J R丸岡駅利用者の増加、収入増加が見込めるため、指定管理者制度の導入を検討します。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	J R丸岡駅舎改修時にシルバー人材センターと一度協議しましたが、指定管理者制度の導入はしていません。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	J R丸岡駅利用者の利便性、駅周辺の防犯対策として、継続します。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	坂井農業高校・春江工業高校等の高校再編によりJ R乗車券販売の増収が見込まれるほか、アイデア次第では駅周辺で収益の見込める事業を実施できると思いますので、指定管理者制度導入を検討していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	J R丸岡駅舎等管理の必要最小限を計上しているため、現状を維持します。なお、窓口業務の収益増、施設管理費の削減に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	最小限の人員で効率よく行っており、現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	今後も節電に努めます。また、窓口販売額を増やすようシルバー人材センター員を指導していきます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	J R丸岡駅舎にて指定管理者制度の導入を検討していきます。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】

事務事業名	防災行政無線事業			事業コード	02070400401
所管部署	地域振興課（坂井支所）	電話	50-3060	記入者名	森田 康博
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	防災行政無線の保守点検業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画	有 坂井市地域防災計画				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

災害発生時に、迅速かつ一斉に避難情報等を住民に伝達するため、坂井町防災行政無線の維持管理を行う。

◆事業費 1, 249千円  
 ○需用費（電気料、修繕料） 581千円  
 ○委託料（保守点検委託料） 525千円  
 ○使用料及び賃借料（電波利用料） 143千円

すぐに行える改善提案	坂井市で統一した防災行政無線を整備している中、坂井町のみで使用している戸別受信機を新規で購入するのは難しいため、転入者や空家から戸別受信機を回収し、新規申込者へ対応していく必要があります。また、故障等による交換については、修繕等に対応していく必要があります。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	転入者に対しては、市民生活課の窓口にて返却してもらうよう通知しています。また、当初及び補正予算にて戸別受信機の修繕を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	旧町（丸岡・春江・坂井）で異なる防災行政無線（アナログ）を使用しているとともに、防災行政無線のデジタル化が必要になるため、市統一の防災行政無線（デジタル）を早急に整備する必要があります。坂井町防災行政無線を整備する際、花咲ふくい農業協同組合より協力金をいただき、JAの警報情報も防災無線にて放送しているため、廃止の際は協議する必要があります。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	平成23年度から三国・丸岡・春江・坂井の順で、坂井市の防災行政無線（デジタル）を整備していきます。整備が完了するまでは坂井町防災行政無線を利用していきます。また、廃止の際はJAと協議していきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	総務費	項	諸費	目	防災費				
コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	525	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	581	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	143	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	1,249	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.14	人	951	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.14	人	951	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	2,200	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		2,200	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	2,200	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	坂井市の防災行政無線が整備されるまではこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市民の生命、財産を守るため、市が防災行政無線事業を実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	坂井町防災行政無線を使用していく間は、必要最小限の経費で維持管理していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	最小限の人員で効率よく行っており、現状を維持します。			
すぐに行える改善提案	空き家や町外への転居・転出者宅などから戸別受信機を回収し、新規申出や交換に対応していきます。			
目標年度 平成24 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市の防災行政無線を整備する際、設置場所等についての地元協議を本庁総務課安全対策室とともに実施します。また、市として坂井町防災行政無線を廃止するには、花咲ふくい農業協同組合と協議します。			
目標年度 平成28 年度				

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度				
成果	防炎行政無線（同報系）地区遠隔制御装置の保守点検数	目標値	19	達成率	19	達成率	19	達成率		
		実績値	19	100	11	57.89	33	173.68	20	105.26
活動	防炎行政無線（同報系）戸別無線機の交換及び新設の受付数	目標値	30	達成率	30	達成率	20	達成率	20	達成率
		実績値	25	83.33	28	93.33	19	95	12	60
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

コスト

事業の成果

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】